

【小中一日交流教室】第6学年道徳学習指導案（略案）

指導者 * * * * 中学校 ○○ ○○/○○ ○○○/○○ ○○
 * * 小学校 ○○ ○○○/○○ ○
 * * * 小学校 ○○ ○○○/○○ ○○/○○ ○○

1 主題名 心のあたたかさ（温かい人間愛） 内容項目 2－（2）

2 資料名 『夜のくだもの屋』（出典：あかつき「中学生の道徳」）

3 指導の意図

けやき台中学校区共通の課題として、子どもたちは思いやりの心をもっているが、実際に行動に移すことが難しいことがあげられていた。そこで「思いやりの気持ちをはぐくむ心の教育の推進」をけやき台中学校区の一貫教育重点目標として、小中連携して心の教育に取り組んでいる。その取組の一つとして、本時は、「小中一日交流教室」において、中学校の教員が小学校六年生の児童に、思いやりを内容項目とした道徳の授業を行う。

児童は小学校高学年の時期において、「だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする」ことをねらいとした思いやりについて学んでいる。中学生の時期には、思いやりをもって他の人とのかかわりをもつことの大切さを理解できるようになってくる。しかし、人との関わりの場が少なくなりつつある社会環境から、見ず知らずの誰かに対して無関心になりやすい時期でもある。そこで、中学校入学前の児童に、小中一日交流教室の道徳授業において、人間は一人で生きているのではないということ、自分では気付かなくとも多くの人々に支えられながら生きていること、相手に気付かれなくてもその人のことを思いやった言動をとれることの大切さについて話し合わせ、思いを共有したいと考えた。

中学校入学後は、* * 小学校、* * * 小学校を中心に様々な小学校出身の子どもたちが共に学び、生活していく。他者を支え、他者から支えられるという温かい人とのかかわり合いの中で生きているという自覚を深め、思いやりの心をもって中学校生活を送ってほしいという願いをもって本時の学習を展開していきたい。

4 資料について

合唱コンクールの練習で、少女の帰り道はいつも真っ暗になる。少女にとっては、くだもの屋のあかりは温かい支えのようなものだった。そんな少女とくだもの屋の心の交流を通して、ねらいに迫る資料である。くだもの屋と少女の関係は特別の関係はなく、近所にあるお店とその前を通る通行人である。くだもの屋は、暗い夜道を歩く少女のために「あかり」をともし続ける。少女の為に行っている「店のあかりを灯す」という行為が、少女のためであるということに、少女が気付くか気付かないかはくだもの屋にとっては大切なことではない。後に、くだもの屋の行為が自分のためであったと気付いた少女は、その行為を真心で受け取り、少女の心にも「あかり」が灯る。温かい人間愛を感じることができる資料である。

5 ねらい

人間はかかわり合いの中で生きていることを感じ、思いやりの心で人と接しようとする道徳的心情を養う。

6 展開

※準備・資料

資料「夜のくだもの屋」、ワークシート、掲示資料

時間	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	教師の支援及び留意点
5分	1 隣に座っている他の小学校の友だちと自己紹介をし合う。 「好きな色はなんですか。その理由を教えてください。」	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な質問と答えの理由を考え伝え合うことにより、緊張がほぐれ、話しやすい雰囲気が作られ、相手のことをわかろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がまず質問の答えを話し、理由を語ることにより、教室の雰囲気をほぐしていく。
5分	1 小小、小中連携授業のねらいを確認し、思いやりについて考えていくことを知る。 ○思いやりとはどんなことだと考えていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・けんかをしないこと。 ・相手のことを思って何かをやっけてあげる。 ・困っている人がいたら助けてあげる。 ・友だちと助け合うこと。 ・相手が良い気持ちになるような言葉を返してあげること。 ・相手はどう思うのかなと最後まで考え続けること。 ・さりげなく行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の副読本に掲載されている資料であることを紹介し、中学校の道徳授業を意識させたい。 ・互いの意見を知り、広く考えていくこともねらいであるが、初めて顔を合わせる児童同士で意見が出にくいと思われるので、アンケートの結果から指名し、発表しやすい雰囲気作りを行う。
5分	2 資料を読んで話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・長い資料であるので、教師が範読し、児童全員が内容を確認できるようにする。
25分	○ くだもの屋のあかりは、少女の目にどのように映ったのでしょうか。 ・隣同士考えを伝え合う。 ・学級全体で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・心細さから救ってくれた。 ・ほっとした。 ・暗い夜道を照らしてくれた。 ・自分を守ってくれた。 ・自分を包んでくれるような <u>あたたかさ</u>を感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜道の暗さや心細さと、くだもの屋のあかりの明るさや安心感が実感できるように、二つの場面絵を順番にゆっくりみせていく。 ・隣の児童と考えを伝え合うことにより、安心して考えを語ることができるようにする。 ・多くの児童の考えを共有できるように、小学校の先生と協力し合いながら指名も行う。
	◎ 店のあかりがあんなに温かく見えたのはどうしてだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦が、自分のためにつけてくれた思いやりのあかりだったから。 ・夫婦の優しさにあふれたあかりだったから。 ・思いやりの気持ちを少女が感謝の気持ちで受け取ったから。 ・くだもの屋さん夫婦の心のあかりだったから ・少女に気付かれなくてもよい(みえなくてもいい)無償のあかりだったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「くだもの屋のあかりは、少女の目にどのように映ったのでしょうか。」の発問に対する答えから、中心発問へとつなげていきたい。 ・自信をもって考えを語ることができるように、ワークシートにじっくりと考えを書かせる。 ・多くの児童の考えを共有できるように、小学校の先生と協力し合いながら、机間指導し、指名を行う。 ・同じ内容項目で道徳の授業を行った中学生の意見を紹介し、小学生の考えに深まりを持たせたい。

10分	3 今日新たに気付いた思いやりを考え、話し合う。	・相手に気付かれなくてもよい、相手の（誰か）のことを思う心や言動。	◎誰に対しても見返りを期待せず相手の立場に立った思いやりの心をもつことの大切さなどに気付くことができた。 (ワークシート・発表)
	4 教師の話聞く。 「思いやりって見えないことなのかも知れないね・・・。」 「中学生になっても今日みんなで話し合った思いを大切にしてみんなでがんばっていこうね。」		・入学後の話を聞くことで、中学入学にあたっての不安感や心配を軽減したい。

<板書構成>

場面絵2
お婆さんと少女

場面絵1
あかりのついたくだもの屋←夜道

1 / 25

思いやり

温かく見えたのはどうしてだろう。

くだもの屋のあかりは、少女の目にどのように映ったのでしょうか。

思いやり

夜のくだもの屋



授業の様子

道徳 「夜のくだもの屋」 ワークシート

() 小学校6年 () 組 名前 ()

♡ 店のあかりがあんなに温かく見えたのはどうしてでしょうか。

Handwriting practice area with a solid border and horizontal dashed lines. An illustration of a red apple on a branch and a lit incandescent light bulb is positioned in the bottom right corner.

♡ 「思いやり」とはどんなことなのでしょう。
今日の授業を終えて、あなたが考えたことを書きましょう。

Handwriting practice area with a dashed border and horizontal dashed lines. An illustration of a bouquet of red tulips tied with a blue ribbon is positioned in the bottom right corner.